



HitoMile Co., Ltd.

株式会社ひとまいる

旧社名：株式会社カクヤスグループ、2025年7月1日付で社名変更。

2026年3月期 第1四半期
決算補足説明資料

証券コード：7686
2025年8月14日

目次

1. 2026年3月期 第1四半期 サマリー
2. 2026年3月期 第1四半期 決算概要
3. セグメント別業績
4. 事業再編の進捗
5. 既存事業の重点施策
6. サステナビリティ
7. 業績予想の進捗

APPENDIX

- 拠点数データ
- KAKUYASU DEXPO

1. 2026年3月期 第1四半期 サマリー

連結業績：既存事業の安定推移で、前年同期比、増収増益決算。

- ✓ 主力の飲食店向けは順調に成長し、売上を牽引。
- ✓ 値上げやPB商品の販売拡大により、営業利益が増加。

	売上高	営業利益	純利益
業績	34,349	628	302
前年同期比	+4.0%	+30.1%	+19.8%

(単位：百万円)

事業再編の進捗：

- ✓ **プラットフォーム構築**：B2B受注サイトの開発
- ✓ **商品カテゴリーの拡大**：お米の販売、飲食店用資材の販売が好調
- ✓ **有償配送(他人物配送)による収益力強化**：物流センターを子会社に移管し、有償配送を開始

2(1). 2026年3月期 第1四半期 決算概要 — 連結損益計算書

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比		<影響要因>
			増減額	増減率	
売上高	33,036	34,349	+1,313	+4.0%	➤ 売上高は、飲食店向けが好調により増加。
売上総利益	7,650 23.2%	8,339 24.3%	+689	+9.0%	➤ 値上げやPB商品の販売拡大により、売上総利益率は0.4ポイント改善、会社分割によるコスト計上区分の変更により、0.7ポイント上昇。
販売費及び一般管理費	7,167 21.7%	7,711 22.4%	+543	+7.6%	➤ 販売費及び一般管理費については、次のページご参照ください。
営業利益	482 1.5%	628 1.8%	+145	+30.1%	
経常利益	456 1.4%	640 1.9%	+183	+40.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	252 0.8%	302 0.9%	+49	+19.8%	
EBITDA	681	840	+159	+23.4%	
EPS	8.85	10.51	+2	+18.8%	

(単位：百万円、EPSは円)

2(2). 2026年3月期 第1四半期 決算概要 – 販売費及び一般管理費

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比		<影響要因>
			増減額	増減率	
人件費	4,402	4,471	+68	+1.6%	
給与及び賞与、各種手当	4,273	4,363	+89	+2.1%	
採用費	128	107	▲21	▲16.4%	➤ 配達人員が充足しているため、採用費減。
広告・販促費	148	110	▲38	▲26.0%	➤ 前年の5月まで発生していたタレント契約のコストが今期発生していない。
広告宣伝費	50	41	▲9	▲18.9%	
販売促進費	98	68	▲29	▲29.8%	
その他費用	2,616	3,130	+513	+19.6%	
業務委託費	583	679	+96	+16.5%	➤ システム開発による
配送費	226	563	+337	+149.0%	➤ 前頁と同様、会社分割によるコスト区分の変更により増加。
減価償却費・リース料	388	380	▲8	▲2.2%	
賃借料	731	767	+35	+4.9%	
その他	686	739	+53	+7.7%	
販売費及び一般管理費	7,167	7,711	+543	+7.6%	

(単位：百万円)

2(3). 2026年3月期 第1四半期 決算概要 — 営業利益以下

	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率
営業利益	482	628	+145	+30.1%
営業外収益	12	46	+33	+262.5%
営業外費用	38	33	▲4	▲12.4%
経常利益	456	640	+183	+40.2%
特別利益	0	0	0	—
特別損失	4	13	+9	+218.4%
税引前利益	452	627	+174	+38.5%
法人税等	200	325	+124	+62.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	252	302	+49	+19.8%

➤ EV充電器補助金による増加

(単位：百万円)

2(4). 2026年3月期 第1四半期 決算概要 — 連結貸借対照表

	2025年3月末	2025年6月末	増減額		2025年3月末	2025年6月末	増減額
流動資産	22,248	22,563	+315	負債合計	31,829	32,594	+765
現金及び預金	2,837	3,419	+581	仕入債務	17,721	17,510	▲211
売上債権	10,390	10,150	▲240	有利子負債	9,190	9,441	+251
商品	6,247	5,785	▲461	短期借入金	6,021	6,315	+294
未収入金	1,515	1,845	+330	長期借入金	3,081	3,043	▲37
その他	1,258	1,362	+104	リース債務	87	82	▲4
固定資産	13,811	14,299	+488	その他負債	4,917	5,642	+724
有形固定資産	7,848	8,181	+332	純資産合計	4,230	4,268	+38
無形固定資産	2,523	2,848	+324	株主資本	4,081	4,101	+20
投資その他の資産	3,438	3,270	▲168	その他包括利益累計額	148	166	+17
資産合計	36,059	36,863	+803	負債・純資産合計	36,059	36,863	+803

(単位：百万円)

自己資本比率	11.7%	11.6%
---------------	-------	-------

3(1). セグメント別業績

	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率
売上高	33,036	34,349	+1,313	+4.0%
時間帯配達事業	19,266	20,276	+1,009	+5.2%
ルート配達事業	9,400	10,060	+660	+7.0%
店頭販売事業	3,990	3,567	▲423	▲10.6%
その他	379	445	+66	+17.6%
営業利益	482	628	+145	+30.1%
時間帯配達事業	583	280	—	—
ルート配達事業	227	198	—	—
店頭販売事業	30	231	—	—
その他	43	77	—	—
調整額	▲402	▲159	—	—

(単位：百万円)

- 時間帯配達セグメントは拠点・人員の増強及び構造改革にかかる戦略投資の増加による減益
- 店頭販売セグメントは間接部門の共通化による人員コストの削減による増益
- 上記の事由によりセグメント別の営業利益は前年同期と単純比較が困難なため、非表示としております。

3 (2). セグメント別業績 — 時間帯配達事業

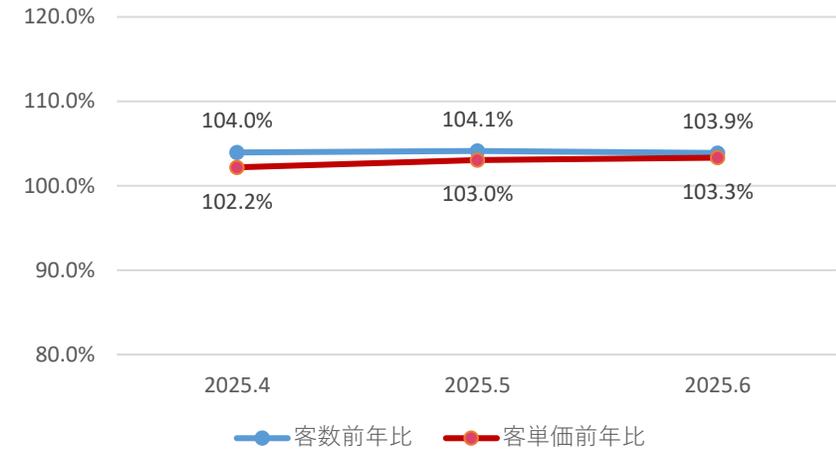
	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減額	増減率
売上高	19,266	20,276	+1,009	+5.2%
営業利益	583	280	—	—
営業利益率	3.0%	1.4%	—	—

(単位：百万円)

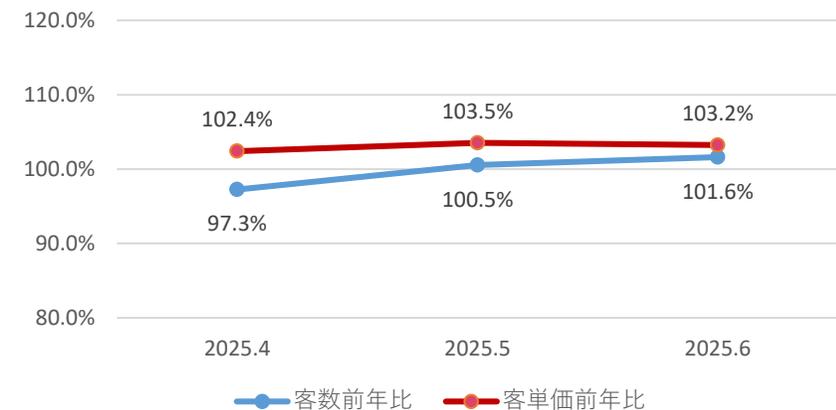
1Qの動向：

- 新規顧客を継続的に獲得し、個人飲食店の客数・客単価は安定的に推移しました。
- 宅配の客数は、3月のメーカー値上げ前の駆け込み需要の反動で4月に減少したものの、5～6月には回復基調に転じました。

個人飲食店 客数・客単価 前年比推移



宅配 客数・客単価 前年比推移



3 (3). セグメント別業績 – ルート配達事業

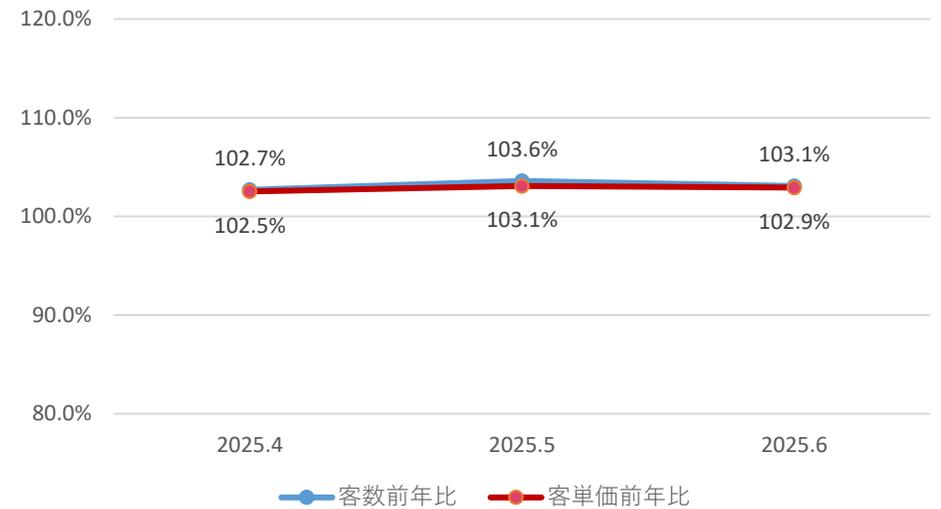
	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減額	増減率
売上高	9,400	10,060	+660	+7.0%
営業利益	227	198	—	—
営業利益率	2.4%	2.0%	—	—

(単位：百万円)

1Qの動向：

- 大手飲食チェーン向けの業績は、引き続き安定的に推移しました。

ルート配達事業 客数・客単価 前年比推移



3(4). セグメント別業績 — 店頭販売事業

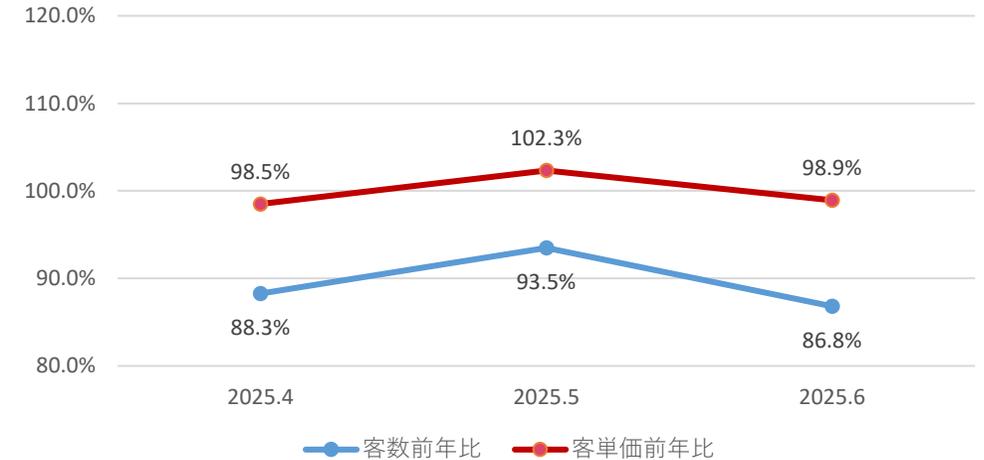
	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減額	増減率
売上高	3,990	3,567	▲423	▲10.6%
営業利益	30	231	—	—
営業利益率	0.8%	6.5%	—	—

(単位：百万円)

1Qの動向：

- 4月の客数・客単価は、3月のメーカー値上げ前の駆け込み需要の反動で、前年同月を下回りました。
- 6月の客数・客単価は、前期15店舗に影響する自治体キャンペーンの反動影響で、前年同期を下回りました。

店頭販売事業 客数・客単価 前年比推移



4. 事業再編の進捗

TOPIX	第1四半期までの進捗	第2四半期以降の予定
プラットフォーム構築 受注・請求業務・マーケティング機能を他社にも提供	<ul style="list-style-type: none">▪ 社名変更、理念策定、Spirits刷新▪ B2B受注システムの要件定義がほぼ完了▪ プラットフォーム推進部隊活動開始	<ul style="list-style-type: none">▪ 要件定義の修正と調整が継続▪ システム設計、機能実装、データ移管、テスト▪ BtoBの受注サイトの刷新
商材カテゴリーの拡大 酒類以外の商品を販売拡大	<ul style="list-style-type: none">▪ お米の販売実績が前年同期比約1.5倍▪ 飲食店用資材が同1.3倍に増加	<ul style="list-style-type: none">▪ 某会員制ストアの大容量食品と生活用品の取り扱いを開始し、カクヤスの店頭でテスト販売
有償配送による収益力強化 自社配送網を活かし、他社商品を配送	<ul style="list-style-type: none">▪ 平和島物流センターを子会社のカクヤスから、ひとまるロジスティクスへ移管▪ 有償配送契約を1件締結し、配送開始	<ul style="list-style-type: none">▪ 平和島物流センターの増床▪ 温度帯対応の車両の導入し、食材の配送を可能とする

5. 既存事業の重点施策

個人飲食店の強化

- 個人飲食店の新規顧客を獲得し、第1四半期における客数の前年同期比は約4%増加。

DX推進：AIを活用した配送管理プロジェクトがテスト稼働開始

- 複雑な配送条件に応じて、最適かつ高精度な配車計画・配送ルートを導き出し、配送計画の**自動化**。
- 目的地や配送ルート、配送員の動態をリアルタイムで把握し、配送状況の**可視化**。
- ベテランドライバーが蓄積してきた納品先情報や駐車位置などの暗黙知をデータ化し、配送業務を**非属人化**。

PB商品拡大

- 第1四半期のPB商品売上は前年同期比29%増。
- 全体売上に占める割合は4%に拡大。

店頭販売の再構築

- 店舗の免税対応を強化し、外国人顧客が増加。

6. サステナビリティ



環境

廃食用油回収

- 廃食用油回収サービスは引き続き順調に推移し、2024年6月～2025年6月の間の回収実績は227トン。



酒・飲酒文化と社会問題

産学連携での研究

- 5月22日に筑波大学と共同研究契約を締結。
- 若年層の酒離れの要因を明らかにするために、飲酒理由の経時的変化について、調査及び先行研究の考察を通じて検証を行う。
- 市場の動向を踏まえ、今後の課題解決に活用。



人的資本に対する取り組み

社内コミュニケーションの強化

- 社内SNSを導入し、情報共有の迅速化、コミュニケーションのスムーズ化。

事業再編の浸透

- 従業員向けトップメッセージを動画配信/取締役からの事業再編を社員総会で説明。
- 新規事業などを募る社員提案制度を実施する。

非財務指標の公表

- 新たに「働きがい、働きやすさ」に関する指標をコーポレートサイトで公表し、社員のエンゲージメントを強化。

7. 業績予想の進捗

	第1四半期実績 (A)	通期業績予想 (B)	通期進捗率 (A/B)
売上高	34,349	142,000	24.2%
営業利益	628	1,440	43.6%
経常利益	640	1,400	45.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	302	500	60.4%
1株当たり当期純利益(円)	10.51	17.20	61.1%

(単位：百万円)

- 事業再編に伴うコスト約9億円は、第2四半期以降、主に下期の業績に織り込んでおります。

APPENDIX

拠点数データ

		2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期				2025.3期				2026.3期
		期末	期末	期末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
グループ 全体	小型倉庫	32	50	53	54	55	60	64	63	62	64	62	62
	配送センター	14	13	13	13	13	15	15	15	17	17	16	16
	店舗	183	185	177	175	175	174	175	177	178	179	179	179
	合計	229	248	243	242	243	249	254	255	257	260	257	257
首都圏 エリア	小型倉庫	30	46	49	49	50	53	55	54	53	54	52	52
	配送センター	11	10	10	10	10	11	11	11	13	13	13	13
	店舗	162	164	156	155	155	157	158	159	159	158	157	157
	合計	203	220	215	214	215	221	224	224	225	225	222	222
関西 エリア	小型倉庫	2	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5
	配送センター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	店舗	10	10	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12
	合計	13	14	15	15	15	15	17	17	18	18	18	18
九州 エリア	小型倉庫	0	1	1	2	2	4	4	4	4	5	5	5
	配送センター	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2
	店舗	11	11	10	9	9	6	6	7	7	9	10	10
	合計	13	14	13	13	13	13	13	14	14	17	17	17

KAKUYASU DEXPO について



KAKUYASU DEXPO とは

- 子会社カクヤスが開催する全国の酒類・飲料等のメーカー、酒蔵、インポーターなどが集結する酒類総合展示会です。
- 酒類、飲料、食品を無料で試飲・試食が可能です。
- 2025年度実績：
出展数：270社。
商品数：約3,600点。
来場者数：約4,400名、そのうち株主(同伴者を含む)は190名。

株主ご招待企画

- 2025年5月、「カクヤス DEXPO 2025」に、抽選で100名の株主様をご招待いたしました。
- ご参加いただいた株主様から大変ご好評を頂戴したため、2026年開催予定の「DEXPO 2026」でも株主ご招待を継続する方針です。





地域の人々の暮らしのどんな小さな願いも叶えたい
一歩先の便利さで、心弾むひとときをお届けします

【お問い合わせ先】

株式会社ひとまいる グループ経営戦略部 IR広報課
Tel: 03-5959-3088 ir@hitomile.co.jp

注意事項

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

資料の内容については、現在入手可能な情報から構成しておりますが、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって予想とは大きく異なる可能性があります。